

平成25年度

笠間市公営企業会計  
決算審査意見書

笠間市監査委員

笠 監 第 8 号

平成26年8月21日

笠間市長 山口 伸樹 様

笠間市監査委員 岸 倫男

笠間市監査委員 海野 隆夫

笠間市監査委員 柴沼 広

平成25年度笠間市公営企業会計決算審査意見書について

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第30条第2項の規定により、  
審査に付された平成25年度笠間市公営企業会計決算及び附属書類を審査した  
ので、その結果について、次のとおりその意見書を提出する。

## 目 次

第1	審査の概要 -----	1
1	審査の対象 -----	1
2	審査の期間 -----	1
3	審査の方法 -----	1
第2	審査の結果 -----	1

### 笠間市水道事業会計

経営の概要 -----		3
1	決算報告書について -----	4
2	経営状況細目について -----	5
3	経営成績について -----	6
4	財政状態（貸借対照表）について -----	7
5	施設の利用状況について -----	1 0
6	供給単価と給水原価について -----	1 0
7	水道事業の経済性について -----	1 1
8	建設改良事業等について -----	1 1
9	企業債償還について -----	1 1
1 0	むすび -----	1 2

### 笠間市工業用水道事業会計

経営の概要 -----		1 4
1	決算報告書について -----	1 5
2	経営状況細目について -----	1 6
3	経営成績について -----	1 7
4	財政状態（貸借対照表）について -----	1 8
5	建設改良事業等について -----	2 0
6	むすび -----	2 0

### 笠間市立病院事業会計

経営の概要 -----		2 2
1	決算報告書について -----	2 3
2	経営状況細目について -----	2 5
3	経営成績について -----	2 7
4	財政状態（貸借対照表）について -----	2 8
5	企業債償還について -----	3 0
6	むすび -----	3 0

資料 -----		3 1～4 1
----------	--	---------

- 1 文中及び本文各表中の金額は、原則として、各係数ごとに千円単位(千円未満は四捨五入)で表示している。
- 2 文中及び本文各表中の比率等用法は、次のとおりである。
  - (1) 比率(%)…… 原則小数点以下第2位を四捨五入している。
  - (2) 「0.0」…… 該当数値はあるが、0.05%未満のもの。
  - (3) 「-」…… 該当数値なし又は算出不能なもの。
- 3 上記のように処理をした結果、文中及び各表の数値とその内容の累計値とが一致しない場合や、他部局等作成の資料の数値と一致しない場合もある。

## 平成25年度笠間市公営企業会計決算審査意見書

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

平成25年度笠間市水道事業会計決算  
平成25年度笠間市工業用水道事業会計決算  
平成25年度笠間市立病院事業会計決算

#### 2 審査の期間

平成26年6月27日から平成26年8月20日まで

#### 3 審査の方法

地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から審査に付された決算書及び附属書類等が経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、関係書類等と照合するとともに、例月出納検査、定期監査の結果を参考とし、また、関係職員の説明を聴取するなど通常実施すべき審査手続きにより実施した。

### 第2 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令並びにこれに基づいて定められた会計諸規定に準拠して作成されており、かつ、計数は経営成績及び財政状態が適正に表示されているものと認められた。

# 笠間市水道事業会計

## 平成 2 5 年度笠間市水道事業会計

### 経営の概要

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減	備 考
行政区域内人口	78,710	77,874	836	
給水人口 (人)	63,800	66,190	△2,390	
普及率 (%)	81.1	85.0	△3.9	$\frac{\text{給水人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$
給水戸数 (戸)	24,351	24,069	282	
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	7,894,431	7,880,188	14,243	
年間総有収水量 (m <sup>3</sup> )	6,717,641	6,696,702	20,939	
有収率 (%)	85.1	85.0	0.1	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$
1 日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	21,629	21,590	39	
1 日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	25,007	25,263	△256	
1 人 1 日平均配水量 (ℓ)	339	326	13	
損益勘定所属職員数(人)	15	15	0	
給水原価 (円)	244.25	241.36	2.89	
供給単価 (円)	220.56	222.43	△1.87	

※年度末給水人口については、1 世帯における人口の算式変更等によるものである。  
 当年度末における給水人口は、63,800 人であり、昨年度と比べて 2,390 人減少となっている。

## 1 決算報告書について

### (1) 収益的収入・支出

本年度における収益的収入は、予算現額 16 億 9,118 万 4 千円に対し決算額 16 億 9,390 万 9 千円、予算現額に対する収入割合は 100.2%である。

収益的支出は、予算現額 17 億 6,926 万 1 千円に対し決算額 17 億 1,532 万 9 千円、予算現額に対する執行率は 97.0%である。

(収入)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	増 減	執行率
水道事業収益	1,691,184	1,693,909	2,725	100.2
営業収益	1,616,668	1,618,949	2,281	100.1
営業外収益	74,513	74,960	447	100.6
特別利益	3	—	△3	—

(支出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	1,769,261	1,715,329	53,932	97.0
営業費用	1,644,287	1,597,076	47,211	97.1
営業外費用	114,471	111,869	2,602	97.7
特別損失	6,390	6,384	6	99.9
予備費	4,113	—	4,113	—

### (2) 資本的収入・支出

本年度の資本的収入は、予算現額 9,276 万 1 千円に対し決算額 8,116 万 9 千円で 87.5%の収入率である。

資本的支出は、予算現額 5 億 5,063 万円に対し決算額 5 億 2,883 万 3 千円で 96.0%の執行率を示し、不用額は 2,179 万 7 千円となっている。

支出は、建設改良費の 1 億 7,849 万 3 千円、企業債償還金 3 億 4,986 万 3 千円、国庫補助金返還金 47 万 6 千円である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 4 億 4,766 万 4 千円を、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 807 万 9 千円及び減債積立金 2,913 万 8 千円、過年度分損益勘定留保資金 4 億 1,044 万 6 千円で補てんされている。



(収 入)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	増 減	執行率
資 本 的 収 入	92,761	81,169	△11,592	87.5
企 業 債	40,000	40,000	—	100.0
他 会 計 出 資 金	21,802	21,801	△1	100.0
他 会 計 負 担 金	3,280	2,856	△424	87.1
工 事 負 担 金	27,678	16,512	△11,167	59.7
固 定 資 産 売 却 代 金	1	—	△1	—

(支 出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
資 本 的 支 出	550,630	528,833	21,797	96.0
建 設 改 良 費	199,815	178,493	21,322	89.3
企 業 債 償 還 金	350,338	349,863	475	99.9
国 庫 補 助 金 返 還 金	477	476	1	99.8

## 2 経営状況細目について（消費税抜き）

本年度の営業収益は、15億4,246万円で、前年度に比べ441万3千円増加している。主な要因は、その他営業収益の増加である。

営業外収益は、7,477万6千円で、前年度に比べ1億531万3千円減少している。主な要因は、他会計補助金の減少である。

(営業収益、営業外収益及び特別利益)

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比		
営 業 収 益	給水収益	1,481,671	91.6	1,489,542	86.7	△7,871
	受託工事収益	—	—	—	—	—
	その他営業収益	60,788	3.8	48,505	2.8	12,284
	計	1,542,460	95.4	1,538,047	89.5	4,413
営 業 外 収 益	受取利息及び配当金	3,920	0.2	4,501	0.3	△581
	他会計補助金	58,964	3.6	163,084	9.5	△104,120
	雑収益	11,892	0.7	12,504	0.7	△612
	計	74,776	4.6	180,089	10.5	△105,313
特 別 利 益	過年度損益修正益	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—
合 計		1,617,236	100.0	1,718,136	100.0	△100,900

営業費用は、15億4,855万3千円で、前年度に比べ3,159万7千円増加している。主な要因は、配水及び給水費の増加である。

営業外費用は、9,225万6千円で、前年度に比べ713万5千円減少している。これは、企業債の支払利息の減少である。

(営業費用、営業外費用及び特別損失)

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比		
営業費用	原水及び浄水費	779,989	47.4	772,570	47.6	7,419
	配水及び給水費	142,429	8.6	122,975	7.6	19,454
	受託工事費	—	—	—	—	—
	業務費	30,351	1.8	28,431	1.8	1,920
	総係費	158,064	9.6	149,217	9.2	8,846
	減価償却費	432,022	26.2	430,525	26.5	1,497
	資産減耗費	5,699	0.3	13,238	0.8	△7,539
	計	1,548,553	94.0	1,516,956	93.4	31,597
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	92,255	5.6	99,390	6.1	△7,135
	雑支出	0	0.0	1	0.0	△1
	計	92,256	5.6	99,391	6.1	△7,136
特別損失	過年度損益修正損	6,078	0.4	7,222	0.4	△1,144
	計	6,078	0.4	7,222	0.4	△1,144
合 計	1,646,887	100.0	1,623,570	100.0	23,317	

### 3 経営成績について

本年度の経営状況は、総収益16億1,723万6千円に対し、総費用16億4,688万7千円で、差引き2,965万1千円の純損失となっている。

また、総収益対総費用比率は98.2%である。

経営成績は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	総 収 益	総 費 用	純 利 益 (△純損失)	総収益対 総費用比率
平成25年度	1,617,236	1,646,887	△29,651	98.2
平成24年度	1,718,136	1,623,570	94,566	105.8
平成23年度	1,874,150	1,685,182	188,967	111.2

平成23年度から平成25年度までの純利益（純損失）及び利益剰余金（欠損金）は次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
当年度純利益 （△純損失）	△29,651	94,566	188,967
前年度繰越利益剰余金 （△前年度繰越欠損金）	773,343	678,777	489,809
当年度未処分利益剰余金 （△当年度未処理欠損金）	743,692	773,343	678,777
利益剰余金処分数額 （△欠損金処理額）	—	—	—
翌年度繰越利益剰余金 （△翌年度繰越欠損金）	743,692	773,343	678,777

#### 4 財政状態（貸借対照表）について

資産の総額は、前年度と比べ2億9,901万9千円減少し151億2,956万円となっている。その構成は、固定資産126億587万2千円（83.3%）、流動資産25億2,368万8千円（16.7%）である。

負債資本の総額は、151億2,956万となり、負債について見ると、流動負債8,927万8千円（0.6%）となっている。資本について見ると、資本金67億2,547万2千円（44.5%）、剰余金83億1,481万円（55.0%）となっている。

笠間市水道事業貸借対照表前年度比較表

資 産 の 部

(単位:千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
固 定 資 産	12,605,872	83.3	12,867,755	83.4	△261,883
有 形 固 定 資 産	12,604,775	83.3	12,867,457	83.4	△262,682
土 地	264,310	1.7	264,310	1.7	—
建 物	301,897	2.0	306,252	2.0	△4,355
構 築 物	11,220,940	74.2	11,464,960	74.3	△244,021
機 械 及 び 装 置	810,626	5.4	830,467	5.4	△19,842
車 両 運 搬 具	976	0.0	1,223	0.0	△247
工 具 器 具 及 び 備 品	3,680	0.0	243	0.0	3,437
建 設 仮 勘 定	2,346	0.0	—	—	2,346
無 形 固 定 資 産	1,097	0.0	298	0.0	799
施 設 利 用 権	799	0.0	—	—	799
電 話 加 入 権	298	0.0	298	0.0	—
流 動 資 産	2,523,688	16.7	2,560,823	16.6	△37,136
現 金 預 金	2,030,427	13.4	2,116,236	13.7	△85,809
未 収 金	476,156	3.1	430,295	2.8	45,861
貯 蔵 品	17,104	0.1	14,292	0.1	2,812
資 産 合 計	15,129,560	100.0	15,428,578	100.0	△299,019

## 負債・資本の部

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
流 動 負 債	89,278	0.6	96,587	0.6	△7,309
未 払 金	80,104	0.5	86,941	0.6	△6,837
その他流動負債	9,174	0.1	9,646	0.1	△472
負 債 合 計	89,278	0.6	96,587	0.6	△7,309
資 本 金	6,725,472	44.5	6,984,396	45.3	△258,924
自 己 資 本 金	2,868,263	19.0	2,817,323	18.3	50,939
固 有 資 本 金	922,737	6.1	922,737	6.0	—
出 資 金	1,916,388	12.7	1,894,586	12.3	21,801
組 入 資 本 金	29,138	0.2	—	—	29,138
借 入 資 本 金	3,857,209	25.5	4,167,073	27.0	△309,863
企 業 債	3,857,209	25.5	4,167,073	27.0	△309,863
剰 余 金	8,314,810	55.0	8,347,595	54.1	△32,785
資 本 剰 余 金	7,455,918	49.3	7,429,913	48.2	26,004
国 庫 補 助 金	2,904,016	19.2	2,905,864	18.8	△1,848
県 補 助 金	34,573	0.2	34,573	0.2	—
一 般 会 計 補 助 金	342,512	2.3	342,512	2.2	—
加 入 分 担 金	1,543,723	10.2	1,543,723	10.0	—
工 事 負 担 金	1,673,596	11.1	1,657,084	10.7	16,512
一 般 会 計 負 担 金	181,864	1.2	179,008	1.2	2,856
受 贈 財 産 評 価 額	676,111	4.5	667,627	4.3	8,484
そ の 他 資 本 剰 余 金	99,523	0.7	99,523	0.6	—
利 益 剰 余 金	858,893	5.7	917,682	5.9	△58,789
減 債 積 立 金	108,923	0.7	138,061	0.9	△29,138
利 益 積 立 金	4,978	0.0	4,978	0.0	—
建 設 改 良 積 立 金	1,300	0.0	1,300	0.0	—
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	743,692	4.9	773,343	5.0	△29,651
資 本 合 計	15,040,282	99.4	15,331,991	99.4	△291,709
負 債 資 本 合 計	15,129,560	100.0	15,428,578	100.0	△299,019

5 施設の利用状況について

施設の投資効果率の推移を表にすると次のとおりである。

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	算 式
施設利用率 (%)	78.5	73.3	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$
負荷率 (%)	86.5	85.5	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$
最大稼働率 (%)	90.7	85.8	$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$
配水管使用効率 m <sup>3</sup> /m	9.3	10.0	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$
固定資産使用効率 m <sup>3</sup> /万円	6.3	6.1	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$

1日配水能力は、27,570 m<sup>3</sup>/日で、これに対する1日平均配水量は、21,629 m<sup>3</sup>となっている。また、1日最大配水量については、25,007 m<sup>3</sup>を記録している。

施設利用率は、78.5%で前年度より5.2ポイント増となっている。

6 供給単価と給水原価について

有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価、給水原価及び有収率の推移は次のとおりである。

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	算 式
供給単価 (円/1 m <sup>3</sup> )	220.56	222.43	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$
給水原価 (円/1 m <sup>3</sup> )	244.25	241.36	$\frac{\text{費用合計}}{\text{年間総有収水量}}$
有収率 (%)	85.1	85.0	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$

費用合計＝経常費用－（受託工事費＋付帯事業費＋材料及び不用品売却原価）

有収率は、供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合で、水道事業の効率性を計るひとつの指標である。

供給単価は、1 m<sup>3</sup>当たりどれだけの水道料金をいただくかを示すものであり、前年度に比べ1 m<sup>3</sup>当たり1円87銭減少し、220円56銭となっている。

給水原価は、1 m<sup>3</sup>給水するのに要する費用を示すもので、前年度に比べ1 m<sup>3</sup>当たり

2円89銭増加し244円25銭となっている。本年度は、給水原価が供給単価を23円69銭上回る状態となっている。

#### 7 水道事業の経済性について

水道事業の経済性を評定するために用いる指数を算出すると、次のとおりである。

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	算 式
総収支比率 (%)	98.2	105.8	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率 (%)	98.6	106.3	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収益対 営業費用比率	99.6	101.4	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

平成25年度においては、各指標の指数が低下している。

#### 8 建設改良事業等について

本年度の建設改良事業については、震災復旧に伴う公共下水道・農業集落排水災害復旧事業に併せた配水管及び老朽管布設替事業など、総延長2,823mを実施し管網の整備に努めている。

また、本年度の施設改良事業は、宍戸浄水場ろ過池ろ材交換工事、次亜注入機更新事業を実施し、これら施設整備は将来にわたって安全な水を安定的に供給していく上で必要であり、今後も計画的な施設更新を望むものである。

#### 9 企業債償還について

企業債償還残高については、政府資金45件、機構資金31件、市中銀行等20件の合計96件で、本年度は3億4,986万3千円の元金を償還している。なお、借入先別企業債残高は次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	24 年度末残高	25 年度借入額	25 年度償還額	25 年度末残高
政 府 資 金	2,538,001	0	142,620	2,395,381
地方公共団体金融機構	761,006	40,000	73,200	727,806
市 中 銀 行 等	868,066	0	134,044	734,022
合 計	4,167,073	40,000	349,863	3,857,209

※ 石綿管更新事業実施に伴い、地方公共団体金融機構から、4,000万円を借り入れた。

## 10 むすび

以上が、平成25年度笠間市水道事業会計決算の概要と審査の結果であり意見については、次のとおりである。

業務実績を見ると、給水人口は、63,800人で前年度に比べ2,390人の減少、給水戸数は24,351戸と前年度と比べ282戸増加している。この給水戸数の増加に対し年間総有収水量は、6,717,641 m<sup>3</sup>で前年度と比べ20,939 m<sup>3</sup>増加しており、有収率も85.1%となっている。

経営状況については、本年度の総収益は、16億1,723万6千円で、前年度に比べ1億90万円減少している。主な要因は、他会計補助金（高料金対策補助金）の減少である。これに対し、総費用は、16億4,688万7千円で、前年度に比べ2,331万7千円増加している。主な要因は、配水及び給水費の増加などによるものである。

なお、未収金は4億7,615万6千円で、前年度に比べ4,586万1千円増加しており、主なものは、水道料金である。平成26年度から検針及び徴収事務を民間委託されたが、今後とも水道料金の未収金については、収納率の向上に努められたい。

事業運営にあたっては、公営企業としての経営意識に徹し、より一層の諸経費の削減や事務事業の合理化を図り、効率的な運営に努められたい。

水道事業においては、老朽化が進む水道施設の更新、浄配水場及び管路の耐震化、老朽管の布設替などを進める必要があることから、平成24年度には水道の施設耐震及び機能診断等を実施、平成25年度には整備計画が策定された。これらを踏まえ、平成26年度において、新たに水道事業財政計画が作成されることから、将来にわたって安全な水を安定的に供給するために、計画的な施設更新と財源確保に努められるよう望むものである。



# 笠間市工業用水道事業会計

## 平成 2 5 年度笠間市工業用水道事業会計

### 経営の概要

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減	備 考
給水件数 (件)	4	4	—	
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	144,591	143,997	594	
年間総有収水量 (m <sup>3</sup> )	138,296	139,468	△1,172	
有収率 (%)	95.6	96.9	△1.3	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$
1 日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	396	395	1	
1 日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	783	755	28	
損益勘定所属職員数(人)	1	1	—	

工業用水道事業は、笠間市岩間工業団地に立地する 3 企業 (4 供給契約) に対し、日量 1,150 m<sup>3</sup>の契約で、工業用水の供給を行っている。

## 1 決算報告書について

### (1) 収益的収入・支出

本年度における収益的収入は、予算現額 2,880 万円に対し決算額 2,926 万円、予算現額に対する収入割合は 101.6%である。

収益的支出は、予算現額 2,880 万円に対し決算額 2,332 万円、予算現額に対する執行率は 91.4%である。

本年度の収益的収支決算額は、594 万円の黒字決算である。

#### (収 入)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	増 減	執行率
工業用水道事業収益	28,800	29,260	460	101.6
営業収益	28,425	28,469	44	100.2
営業外収益	375	791	416	210.9

#### (支 出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
工業用水道事業費用	28,800	23,320	5,480	81.0
営業費用	25,521	23,320	2,201	91.4
営業外費用	1,501	—	1,501	—
特別損失	4	—	4	—
予備費	1,774	—	1,774	—

### (2) 資本的収入・支出

本年度の資本的支出は、予算現額 1,776 万 6 千円に対し決算額 1,667 万 4 千円で 93.9%の執行率を示し、不用額は 109 万 2 千円となっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,667 万 4 千円を、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79 万 4 千円及び過年度分損益勘定留保資金 1,588 万円で補てんされている。

#### (収 入)

0 円

#### (支 出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	17,766	16,674	1,092	93.9
建設改良費	17,766	16,674	1,092	93.9

2 経営状況細目について（消費税抜き）

本年度の営業収益は、2,711万3千円で、前年度に比べ13万5千円増加している。

（営業収益，営業外収益）

（単位：千円・％）

区 分		平成25年度		平成24年度		増 減
		金 額	構成比	金 額	構成比	
営業収益	給水収益	27,113	98.3	26,978	98.5	135
	計	27,113	98.3	26,978	98.5	135
営業外収益	受取利息及び配当金	480	1.7	361	1.3	119
	雑収益	0	0.0	56	0.2	△56
	計	480	1.7	417	1.5	63
合 計		27,594	100.0	27,396	100.0	198

営業費用は、2,291万8千円で、前年度と比べ89万5千円減少している。主な要因は、減価償却費の減少である。

（営業費用，営業外費用及び特別損失）

（単位：千円・％）

区 分		平成25年度		平成24年度		増 減
		金 額	構成比	金 額	構成比	
営業費用	原水及び浄配水費	7,922	34.6	8,006	33.6	△85
	総係費	7,680	33.5	7,791	32.7	△110
	減価償却費	6,522	28.5	8,016	33.7	△1,494
	資産減耗費	794	3.5	—	—	皆増
	計	22,918	100.0	23,813	100.0	△895
営業外費用	雑支出	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
合 計		22,918	100.0	23,813	100.0	△895

### 3 経営成績について

本年度の経営状況は、総収益2,759万4千円に対し、総費用2,291万8千円で、差引き46万7千円の純利益を生じた。

また、総収益対総費用比率は120.4%である。

経営成績は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	総 収 益	総 費 用	純 利 益 (△純損失)	総収益対 総費用比率
平成25年度	27,594	22,918	4,676	120.4
平成24年度	27,396	23,813	3,582	115.0
平成23年度	28,905	23,125	5,780	125.0

平成23年度から平成25年度までの純利益（純損失）及び利益剰余金は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
当年度純利益 (△純損失)	4,676	3,582	5,780
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)	53,608	50,025	44,245
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	58,283	53,608	50,025
利益剰余金処分額 (△欠損金処理額)	—	—	—
翌年度繰越利益剰余金 (△翌年度繰越欠損金)	58,283	53,608	50,025

#### 4 財政状態（貸借対照表）について

資産の総額は、前年度と比べ520万7千円増加し4億3,825万8千円となっている。その構成は、固定資産1億7,889万4千円(40.8%)、流動資産2億5,936万4千円(59.2%)である。

負債・資本の総額は、4億3,825万8千円となり、負債について見ると、流動負債151万4千円(0.3%)となっている。資本について見ると、資本金3億6,298万7千円(82.8%)、剰余金7,375万7千円(16.8%)である。

笠間市工業用水道事業貸借対照表前年度比較表

資 産 の 部

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
固 定 資 産	178,894	40.8	170,329	39.3	8,564
有 形 固 定 資 産	178,808	40.8	170,243	39.3	8,564
土 地	9,637	2.2	9,637	2.2	—
建 物	24,362	5.6	24,868	5.7	△506
構 築 物	99,292	22.7	102,972	23.8	△3,680
機 械 及 び 装 置	45,434	10.4	32,683	7.5	12,750
車 両 運 搬 具	84	0.0	84	0.0	—
無 形 固 定 資 産	86	0.0	86	0.0	—
電 話 加 入 権	86	0.0	86	0.0	—
流 動 資 産	259,364	59.2	262,722	60.7	△3,357
現 金 預 金	256,661	58.6	260,275	60.1	△3,614
未 収 金	2,703	0.6	2,447	0.6	256
資 産 合 計	438,258	100.0	433,051	100	5,207

## 負債・資本の部

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
流 動 負 債	1,514	0.3	983	0.2	531
未 払 金	1,514	0.3	983	0.2	531
負 債 合 計	1,514	0.3	983	0.2	531
資 本 金	362,987	82.8	362,987	83.8	—
自 己 資 本 金	362,987	82.8	362,987	83.8	—
固 有 資 本 金	362,987	82.8	362,987	83.8	—
剰 余 金	73,757	16.8	69,082	16.0	4,676
資 本 剰 余 金	15,474	3.5	15,474	3.6	—
他 会 計 負 担 金	4,252	1.0	4,252	1.0	—
他 会 計 補 助 金	1,795	0.4	1,795	0.4	—
受 贈 財 産 評 価 額	9,387	2.1	9,387	2.2	—
そ の 他 資 本 剰 余 金	41	0.0	41	0.0	—
利 益 剰 余 金	58,283	13.3	53,608	12.4	4,676
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	58,283	13.3	53,608	12.4	4,676
資 本 合 計	436,744	99.7	432,068	99.8	4,676
負 債 資 本 合 計	438,258	100	433,051	100.0	5,207

## 5 建設改良事業等について

本年度の建設改良事業については、工業用水道浄水場配水ポンプ制御盤更新工事し安定供給に努めている。

これら施設整備は、将来にわたって工業用水を安定的に供給していく上で必要であり、今後も計画的な施設更新を望むものである。

## 6 むすび

以上が、平成25年度笠間市工業用水道事業決算の概要と審査の結果であり、意見については次のとおりである。

給水状況は、給水件数4件で、年間総配水量は144,591 m<sup>3</sup>、有収水量は、138,296 m<sup>3</sup> で有収率95.6%となっている。

また、経営の収支状況では、収益総額は2,759万4千円で、前年度に比べ198万円の増加となった。主な要因は、給水収益の増加である。

次に、支出総額は2,291万8千円で、前年度に比べ89万5千円の減少になった。主な要因は、減価償却費の増加によるものである。

収益総額から支出総額を差引いた467万6千円が純利益となった。

最後に、事業運営にあたっては、公営企業の経営意識に徹し、より一層の経営の安定と健全化を目指して努力されることを望むものである。



# 笠間市立病院事業会計

## 平成 2 5 年度笠間市立病院事業会計

### 経営の概要

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	比 較
入院患者数 (人)	6,411	5,426	985
1 日平均入院患者数 (人)	17.6	14.9	2.7
外来患者数 (人)	24,595	23,867	728
(平日夜間及び休日診療数)	2,706	2,840	△134
1 日平均外来患者数 (人)	100.8	97.4	3.4
入院収益 (円)	162,673,330	137,125,880	25,547,450
外来収益 (円)	274,754,166	259,582,229	15,171,937
患者 1 人 1 日平均入院収益 (円)	25,374	25,272	102
患者 1 人 1 日平均外来収益 (円)	11,171	10,876	295

本年度の患者数は、入院が 6,411 人(1 日平均 17.6 人)、外来が 24,595 人(1 日平均 100.8 人)となった。この外来患者数には、平成 22 年度から始まった診療である平日夜間診療(778 人)及び休日診療(1,928 人)が含まれている。

簡単で気軽に健康状態をチェックできる「さいけつ検診」により、市内はもとより、県内外から 185 名の受検者があった。

## 1 決算報告書について

### (1) 収益的収入・支出

本年度における収益的収入は、予算現額 6 億 2,044 万 3 千円に対し決算額 6 億 755 万 7 千円、予算現額に対する収入割合は 97.9%である。

収益的支出は、予算現額 6 億 2,044 万 3 千円に対し決算額 5 億 9,208 万 8 千円、予算現額に対する執行率は、95.4%である。

本年度の収益的収支決算額は、1,546 万 8 千円の黒字決算である。

(収入)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	増 減	執行率
病院事業収益	620,443	607,557	△12,886	97.9
医業収益	550,430	529,834	△20,596	96.3
医業外収益	70,010	69,625	△385	99.5
特別利益	3	8,098	8,095	269,933.3

(支出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	620,443	592,088	28,355	95.4
医業費用	616,114	585,869	30,245	95.1
医業外費用	3,607	2,418	1,189	67.0
特別損失	4	3,801	△3,797	95,025.0
予備費	718	—	718	—

※収益的支出の特別損失において決算額が予算額を超過する 379 万 7 千円は、地方公営企業法施行令第 18 条第 5 項ただし書きの規定に基づくものである。

(2) 資本的収入・支出

本年度の資本的収入は、予算現額1,517万6千円に対し決算額1,517万5千円で100.0%の収入率である。

資本的支出は、予算現額1,673万4千円に対し決算額1,673万2千円で100.0%の執行率を示し、不用額は2千円となっている。

資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額155万7千円は過年度分損益勘定留保資金155万7千円で補てんされている。

(収 入)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	増 減	執行率
資 本 的 収 入	15,176	15,175	△1	100.0
企 業 債	10,100	10,100	—	100.0
出 資 金	2,451	2,450	△1	100.0
補 助 金	2,625	2,625	—	100.0

(支 出)

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
資 本 的 支 出	16,734	16,732	2	100.0
建 設 改 良 費	13,986	13,985	1	100.0
企 業 債 償 還 金	2,748	2,747	1	100.0

2 経営状況細目について（消費税抜き）

本年度の医業収益は、5億2,864万4千円で、前年度に比べ4,009万1千円増加している。主な要因は、入院収益、外来収益の増加である。

医業外収益は、6,950万1千円で、前年度に比べ899万2千円減少している。主な要因は、他会計補助金（病院運営費分）の減少である。

特別利益は、前年度と比べ809万8千円増加している。過年度損益修正益の増加である。

（医業収益，医業外収益及び特別利益）

（単位：千円・％）

区 分		平成25年度		平成24年度		増 減
		金 額	構成比	金 額	構成比	
医業収益	入院収益	162,673	26.8	137,126	24.2	25,547
	外来収益	274,754	45.3	259,582	45.8	15,172
	その他の医業収益	91,216	15.0	91,845	16.2	△629
	計	528,644	87.2	488,553	86.2	40,091
医業外収益	国・県補助金	1,489	0.2	1,907	0.3	△418
	他会計負担金	793	0.1	739	0.1	54
	他会計補助金	64,629	10.7	73,842	13.0	△9,212
	患者外給食収益	1,206	0.2	1,250	0.2	△44
	その他の医業外収益	1,383	0.2	756	0.1	628
	計	69,501	11.5	78,493	13.8	△8,992
特別利益	固定資産売却益	—	—	—	—	—
	過年度損益修正益	8,098	1.3	—	—	8,098
	その他の特別利益	—	—	—	—	—
	計	8,098	1.3	—	—	8,098
合 計		606,242	100.0	567,046	100.0	39,196

本年度の医業費用は、5億7,460万5千円で、前年度に比べ2,093万8千円増加している。主な要因は、給与費、減価償却費の増加である。

医業外費用は、1,381万6千円で、前年度と比べ1,148万5千円増加している。主な要因は、雑支出の増加である。

特別損失は、前年度と比べ380万1千円増加している。過年度損益修正損の増加である。

(医業費用、医業外費用及び特別損失)

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比		
医業費用	給与費	329,082	55.6	318,220	57.2	10,861
	材料費	144,196	24.3	135,419	24.4	8,777
	経費	80,313	13.6	79,634	14.3	679
	減価償却費	19,630	3.3	13,623	2.5	6,006
	資産減耗費	525	0.1	6,090	1.1	△5,565
	研究研修費	859	0.1	679	0.1	180
	計	574,605	97.0	553,666	99.6	20,938
医業外費用	支払利息	1,236	0.2	1,130	0.2	107
	患者外給食材料費	1,126	0.2	1,189	0.2	△63
	雑支出	11,454	1.9	13	0.0	11,441
	計	13,816	2.3	2,331	0.4	11,485
特別損失	固定資産売却損	—	—	—	—	—
	臨時損失	—	—	—	—	—
	過年度損益修正損	3,801	0.6	—	—	3,801
	その他の特別損失	—	—	—	—	—
	計	3,801	0.6	—	—	3,801
合 計	592,222	100.0	555,998	100.0	36,225	

### 3 経営成績について

本年度の経営状況は、総収益6億624万2千円に対し、総費用5億9,222万2千円で、差引き1,402万円の純利益をあげている。

また、総収益対総費用比率は102.4%となった。

経営成績は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	総 収 益	総 費 用	純 利 益 (△純損失)	総収益対 総費用比率
平成25年度	606,242	592,222	14,020	102.4
平成24年度	567,046	555,998	11,049	102.0
平成23年度	538,207	526,733	11,474	102.2

平成23年度から平成25年度までの純利益（純損失）及び利益剰余金（欠損金）は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
当年度純利益 (△当年度純損失)	14,020	11,049	11,474
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)	△399,551	△410,599	△422,074
当年度変動額	19,026		
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	△366,504	△399,551	△410,599
利益剰余金処分別 (△欠損金処理額)	—	—	—
翌年度繰越利益剰余金 (△翌年度繰越欠損金)	△366,504	△399,551	△410,599

平成25年度当年度変動額は、平成24年度以前の除却済資産に関わる資本剰余金処分別である。

#### 4 財政状態（貸借対照表）について

資産の総額で4億7,190万3千円となり、その構成は固定資産2億9,369万7千円(62.2%)、流動資産1億7,820万7千円(37.8%)である。

負債資本総額では4億7,190万3千円となり、負債について見ると、総額4,359万3千円で、その構成は、固定負債60万円、流動負債4,299万3千円となっている。資本について見ると、総額4億2,831万円で、その構成は、資本金7億1,805万円、剰余金は△2億8,974万円となっている。

#### 笠間市立病院事業貸借対照表前年度比較

資 産 の 部

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
固 定 資 産	293,697	62.2	332,105	69.1	△38,408
有 形 固 定 資 産	293,697	62.2	332,105	69.1	△38,408
土 地	273	0.1	273	0.1	—
建 物	236,057	50.0	242,165	50.4	△6,107
構 築 物	6,638	1.4	6,876	1.4	△238
器 械 備 品	48,807	10.3	82,683	17.2	△33,876
車 両	1,922	0.4	109	0.0	1,813
流 動 資 産	178,207	37.8	148,460	30.9	29,747
現 金 預 金	80,708	17.1	61,594	12.8	19,113
未 収 金	83,881	17.8	74,020	15.4	9,861
有 価 証 券	—	—	—	—	—
貯 蔵 品	13,618	2.9	12,846	2.7	772
資 産 合 計	471,903	100.0	480,565	100.0	△8,662



## 負債・資本の部

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
固 定 負 債	600	0.1	600	0.1	—
企 業 債	600	0.1	600	0.1	—
流 動 負 債	42,993	9.1	42,234	8.8	759
一 時 借 入 金	—	—	—	—	—
未 払 金	42,993	9.1	42,234	8.8	759
負 債 合 計	43,593	9.2	42,834	8.9	759
資 本 金	718,050	152.2	708,247	147.4	9,803
自 己 資 本 金	639,619	135.5	637,169	132.6	2,450
借 入 資 本 金	78,431	16.6	71,078	14.8	7,353
剰 余 金	△289,740	△61.4	△270,516	△56.3	△19,224
資 本 剰 余 金	76,765	16.3	129,035	26.9	△52,270
国 県 補 助 金	72,564	15.4	126,634	26.4	△54,070
他 会 計 補 助 金	2,401	0.5	2,401	0.5	—
受 贈 財 産 評 価 額	1,800	0.4	—	—	1,800
利 益 剰 余 金	△366,504	△77.7	△399,551	△83.1	33,046
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	△366,504	△77.7	△399,551	△83.1	33,046
資 本 合 計	428,310	90.8	437,730	91.1	△9,420
負 債 資 本 合 計	471,903	100.0	480,565	100.0	△8,662

## 5 企業債償還について

企業債償還及び借入状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	24 年度末残高	25 年度借入額	25 年度償還額	25 年度末残高
財 務 省	71,678	10,100	2,747	79,031
合 計	71,678	10,100	2,747	79,031

## 6 むすび

以上が、平成25年度笠間市立病院事業会計決算の概要と審査の結果であり、意見については次のとおりである。

本年度の患者数は、入院が6,411人(1日平均17.6人)、外来が24,595人(1日平均100.8人)となり前年度と比べて、入院が985人の増で、外来が728人の増になっている。

経営に当たっては、地方公営企業法の経営基本原則に基づき、「第2次市立病院改革プラン」に掲げた経営指標の目標値を達成できるよう、経営健全化を推進し、経営の改善を図りながら疾病の早期発見と早期治療を重点とした取組の他、在宅訪問診療や市民の保健予防業務等についても積極的に果たすことを期待する。

経営の収支状況については、本年度の総収益は、6億624万2千円で、前年度に比べ3,919万6千円増加している。主な要因は、医業収益(入院・外来)の増加などである。これに対し、総費用は、5億9,222万2千円で、前年度に比べ3,622万4千円増加している。主な要因は、医業費用(給与費・材料費)、医業外費用の増加などである。

この結果、事業収支で1,402万円の純利益が生じているが、純利益が生じた主な要因としては、一般会計からの運営補助である。なお、運営補助は減少しているものの少なからず頼っている部分もあるため、依然として厳しい経営状況にあり、一層の経営努力を期待する。

最後に、市立病院には、平成30年4月に新病院が開院される予定であることから、市民が住み慣れた場所で安心して生活が出来るように、市医師会や県立中央病院及び笠間薬剤師会と連携して、地域の緊急医療体制の取組と地域住民の健康を守る医療機関となることを望む。

# 資 料

## 目 次

笠間市水道事業経営分析	3 2
笠間市水道事業財務分析	3 4
工業用水道事業経営分析	3 6
工業用水道事業財務分析	3 8
市立病院事業経営状況	4 0
市立病院事業経営分析表	4 1

H25経営分析 笠間市水道事業

H26. 3. 31現在

項 目		算 式		分析値
1	負 荷 率	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	$\frac{21,629}{25,007} \times 100$	(%) 86.49
2	施 設 利 用 率	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	$\frac{21,629}{27,570} \times 100$	(%) 78.45
3	最 大 稼 働 率	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	$\frac{25,007}{27,570} \times 100$	(%) 90.70
4	配水管使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	$\frac{7,894,431}{845,610}$	(m <sup>3</sup> ) 9.34
5	固定資産使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{7,894,431}{12,604,774,787}$	(m <sup>3</sup> /万円) 6.26
6	供 給 単 価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{1,481,671,488}{6,717,641}$	(円) 220.56
7	給 水 原 価	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費)}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{1,640,808,584}{6,717,641}$	(円) 244.25
8	資 本 費	$\frac{\text{企業債利息+減価償却費+受水中資本費}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{946,537,787}{6,717,641}$	(円) 140.90
9	職 員 1 人 当 たり 給 水 人 口	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{63,800}{15}$	(人) 4,253.33
10	職 員 1 人 当 たり 有 収 水 量	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{6,717,641}{15}$	(m <sup>3</sup> ) 447,842.73

項 目		算 式		分析値
11	職員 1 人 当 たり	営業収益－受託工事収益	1,542,459,706	(円)
	営 業 収 益	損益勘定職員数	15	102,830,647
12	有 収 率	年間総有収水量	6,717,641	(%)
		年間総配水量	7,894,431	85.09

## H25財務分析

## 笠間市水道事業

H26. 3. 31現在

項 目		算 式	比率(%)
1	固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	$\frac{12,605,872,172}{15,129,559,693} \times 100$ 83.32
2	自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{11,183,072,822}{15,129,559,693} \times 100$ 73.92
3	固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	$\frac{12,605,872,172}{15,040,282,086} \times 100$ 83.81
4	当 年 度 減 価 償 却 率	$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	$\frac{432,022,132}{12,773,584,042} \times 100$ 3.38
5	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{2,523,687,521}{89,277,607} \times 100$ 2,826.79
6	現 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{2,030,426,984}{89,277,607} \times 100$ 2,274.28
7	総 収 支 比 率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{1,617,235,665}{1,646,886,897} \times 100$ 98.20
8	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	$\frac{1,617,235,665}{1,640,808,584} \times 100$ 98.56
9	営 業 収 益 対 営 業 費 用 比 率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	$\frac{1,542,459,706}{1,548,553,063} \times 100$ 99.61
10	企 業 債 償 還 元 金 対 減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	$\frac{349,863,447}{432,022,132} \times 100$ 80.98

項 目		算 式		比率(%)
11	給水収益に対する 建設改良のための企業債償還金	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{349,863,447}{1,481,671,488} \times 100$	23.61
12	給水収益に対する 企業債利息	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{92,255,134}{1,481,671,488} \times 100$	6.23
13	給水収益に対する 減価償却費	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{432,022,132}{1,481,671,488} \times 100$	29.16
14	給水収益に対する 職員給与費	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{128,222,251}{1,481,671,488} \times 100$	8.65

H25経営分析 笠間市工業用水道事業

H26.3.31現在

項 目		算 式		分析値
1	負 荷 率	1日平均配水量	396	(%)
		$\frac{\quad}{\quad} \times 100$ 1日最大配水量	$\frac{\quad}{783} \times 100$	50.57
2	施 設 利 用 率	1日平均配水量	396	(%)
		$\frac{\quad}{\quad} \times 100$ 1日配水能力	$\frac{\quad}{1,500} \times 100$	26.40
3	最 大 稼 働 率	1日最大配水量	783	(%)
		$\frac{\quad}{\quad} \times 100$ 1日配水能力	$\frac{\quad}{1,500} \times 100$	52.20
4	配 水 管 使 用 効 率	年間配水量	144,591	(m <sup>3</sup> /m)
		$\frac{\quad}{\quad}$ 導送配水管延長	$\frac{\quad}{4,363}$	33.14
5	固 定 資 産 使 用 効 率	年間配水量	144,591	(m <sup>3</sup> /万円)
		$\frac{\quad}{\quad}$ 有形固定資産	$\frac{\quad}{178,807,661}$	8.09
6	供 給 単 価	給水収益	27,113,403	(円/m <sup>3</sup> )
		$\frac{\quad}{\quad}$ 年間有収水量	$\frac{\quad}{138,296}$	196.05
7	給 水 原 価	経常費用－(受託工事費+付帯事業費 +材料及び不用品売却原価)	22,917,913	(円/m <sup>3</sup> )
		$\frac{\quad}{\quad}$ 年間有収水量	$\frac{\quad}{138,296}$	165.72
8	資 本 費 単 価	減価償却費+受水資本費相当額 +企業債利息	6,521,862	(円)
		$\frac{\quad}{\quad}$ 年間有収水量	$\frac{\quad}{138,296}$	47.16
9	職 員 1 人 当 り 給 水 件 数	現在給水件数	4	(件)
		$\frac{\quad}{\quad}$ 損益勘定所属職員	$\frac{\quad}{1}$	4.00
10	職 員 1 人 当 り 有 収 水 量	年間有収水量	138,296	(m <sup>3</sup> )
		$\frac{\quad}{\quad}$ 損益勘定所属職員	$\frac{\quad}{1}$	138,296.00



項 目		算 式		分析値
11	職 員 1 人 当 り	営業収益	27,113,403	(円)
	営 業 収 益	$\frac{\text{損益勘定所属職員}}{\text{損益勘定所属職員}}$	1	27,113,403
12	有 収 率	年間有収水量	138,296	(%)
		$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	$\frac{138,296}{144,591} \times 100$	95.65

## H25財務分析

## 笠間市工業用水道事業

H26.3.31現在

項 目		算	式	比率(%)
1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産(資産合計)}} \times 100$	$\frac{178,893,563}{438,257,706} \times 100$	40.82
2	自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{436,743,924}{438,257,706} \times 100$	99.65
3	固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	$\frac{178,893,563}{436,743,924} \times 100$	40.96
4	減価償却率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{有形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$	$\frac{178,893,563}{175,692,901} \times 100$	101.82
5	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{259,364,143}{1,513,782} \times 100$	17,133.52
6	現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{256,661,308}{1,513,782} \times 100$	16,954.97
7	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{27,593,547}{22,917,913} \times 100$	120.40
8	経常収支比率	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	$\frac{27,593,547}{22,917,913} \times 100$	120.40
9	営業収益対 営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	$\frac{27,113,403}{22,917,868} \times 100$	118.31
10	企業債償還元金対 減価償却比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	$\frac{0}{6,521,862} \times 100$	0.00

(単位：円)

項 目		算 式		比率(%)
11	企業債償還元金比率	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{0}{27,113,403} \times 100$	0.00
12	企業債利息比率	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{0}{27,113,403} \times 100$	0.00
13	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{6,521,862}{27,113,403} \times 100$	24.05
14	職員給与費比率	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	$\frac{7,611,963}{27,113,403} \times 100$	28.07

## 別表(1)

## 平成25年度笠間市立病院事業経営状況

項 目		平成25年度	平成24年度	比 較
患者数	入 院 (一日当たり)	6,411人 (17.6人)	5,426人 (14.9人)	985人 (2.7人)
	外 来 (一日当たり)	24,595人 (100.8人)	23,867人 (97.4人)	728人 (3.4人)
	うち一般診療 (一日当たり)	21,889人 (89.7人)	21,027人 (85.8人)	862人 (3.9人)
	うち夜間診療 (一日当たり)	778人 (3.2人)	859人 (3.5人)	△81人 (△0.3人)
	うち日曜診療 (一日当たり)	1,928人 (37.1人)	1,981人 (38.1人)	△53人 (△1.0人)
総 収 益		606,242 千円	567,046 千円	39,196 千円
内 訳	医 業 収 益	528,644	488,553	40,091
	医 業 外 収 益	69,501	78,493	△ 8,992
	特 別 利 益	8,097	0	8,097
総 費 用		592,222	555,997	36,225
内 訳	医 業 費 用	574,605	553,666	20,939
	医 業 外 費 用	13,816	2,331	11,485
	特 別 損 失	3,801	0	3,801
純 利 益		14,020	11,049	2,971
内 訳	医 業 収 支	△ 45,961	△ 65,113	19,152
	医 業 外 収 支	55,685	76,162	△ 20,477
	特 別 利 益	4,296	0	4,296
一般会計 繰入金	医 業 収 支	129,241	143,227	△ 13,986
	資 本 収 支	2,450	1,794	656
起債償還	元 金	2,747	2,691	56
	利 子	1,236	1,130	106

平成25年度笠間市立病院事業経営分析表

	項 目		算 式	数 値
1	病 床 利 用 率 ( % )		$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延総病床数}} \times 100$	58.5
2	1日平均患者数(人)	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{365 \text{ 日}}$	17.6
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	100.8
3	外 来 ・ 入 院 患 者 比 率 ( % )		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	383.6
4	患者1人1日当たり診療収入(円)	入 院	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	25,374
		外 来	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	11,171
5	患 者 一 人 1 日 当 た り 薬 品 費 ( 円 )		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延総患者数}}$	4,067
6	対 医 業 収 益 比 ( % )	医 療 材 料 費	$\frac{\text{医 療 材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	26.4
		職 員 給 与 費	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	56.5
7	総 収 益 対 総 費 用 比 率 ( % )		$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	102.4
8	医 業 収 益 対 医 業 費 用 比 率 ( % )		$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	92.0
9	自 己 資 本 構 成 比 率 ( % )		$\frac{\text{自己資本金+剰余金合計}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	74.1
10	固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率 ( % )		$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定負債+資本合計}} \times 100$	68.5
11	流 動 比 率 ( % )		$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	414.5
12	企 業 債 償 還 額 対 減 価 償 却 額 比 率 ( % )		$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	14.0
13	料 金 収 入 対 する	企 業 債 元 利 償 還 比 率 ( % )	$\frac{\text{企 業 債 元 利 償 還 金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	0.9
		職 員 給 与 比 率 ( % )	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	68.3